

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

— 『充電』『過程』『終わりの方』 —

NO. 77



子ども達の秋は忙しいですね。運動会に遠足に発表会にと、学校も幼稚園保育所も、秋ならではの行事が続きます。何ごとも本番は“一発勝負”的なところがあるので、子ども自身もご家族も、先生方も、私達のような支援者も、期待と不安で一喜一憂してしまいます。でもね、安心してください。あんずで小さい子から中学生まで見ていると、子ども達の行事への向かい方が少しずつ変わっていくのが、よくわかるんですよ。キーワードは『充電』と『過程』『終わりの方』です。

運動会や発表会のような大きなイベントは、日数をかけて少しずつ取り組んでいくものが多いと思います。当日が近づくとつれ、練習時間が多くなり、遊びの時間が減ってきたり、日課の変更があったり、少しずつ“いつも”が減っていきます。先生や子ども達みんなのテンションも上がってくるので、日を追うごとに場面場面がにぎやかになり、生活全てにおいてスピードが上がっていきます。本来はそれが楽しさにつながるのですが、窮屈に感じる子も出てきます。まだ経験の少ないうちは、不安定になることでしか表せない子もいますが、徐々に、家での遊びや あんず のような場所で、自分のペースを保ち整える過ごし方ができるようになってきます。まさに『充電』です。学校や幼稚園保育園といった“子どもの社会”に合わせるパワーを充電する術が身に付いてくるのです。まず、そこがいちばんのポイントです。“なんだか、行事前は落ち着かないな”と思ったら、いつもと変わらない時空間を作ってあげてください。もうすでにそうしているご家庭、HOMEの対応としてはバッチリです！

練習が必要な大きな行事は、毎日のように同じことを繰り返していきます。そして徐々に複雑になり、内容も厚みを増していきます。合わせることに苦手な子達にとっては、じつはこれは好都合です。“同じことを繰り返す”“簡単なことから徐々に内容を加えていく”は、子ども達への支援の原則です。まずは外から全体像を見ることで、「こういうことが始まるよ」「あそこに身を置くんだよ」を知っていきます。そこから、そこで用いるグッズを手にし、曲を耳にし聞き慣れていきます。経験が少ないと、その段取りがわかりません。今日は何があるのか、今から何をするのがわからなければ不安になるのは当然です。子どもによっては、渦中にいたほうが楽しめるタイプもいますし、しばらく外から見ることから入ったほうが戸惑わない子もいます。できるかどうかに関わらず、その子らしく『過程』に参加する経験を重ねてこれていると、大きな流れに合わせることに無理がなくなってきました。自分なりに楽しめるようになってくるのです。本番は、練習と環境が同じではないことがほとんどです。でも『過程』を楽しめていれば、実りある行事として心に残っていくと思います。それが、一年後二年後、「この時期にはさ、こんなことがあるんだよね」の余裕につながっていきます。ご家族は、練習『過程』のありのままを、知っておくことが有意義ですね。

そして『終わりの方』、これは大人の責任大です。「がんばった」「楽しかった」「素晴しかった」と、終わった夜は無条件に誉めあげて終わりたいですね。目に見えるご褒美も欠かせないと思います。子どもにとっては、そこまでが記憶に残る行事になっているはずですよ。皆さんもそうでしたよね。

その季節がやってきたとき、よい思い出やエピソードの積み重ねが、子どもの臨み方を変えていくことを、今、目の当たりにしています。やっぱりドキドキしますけどね。(R4. 10) K

